平成30年3月26日（月曜日）

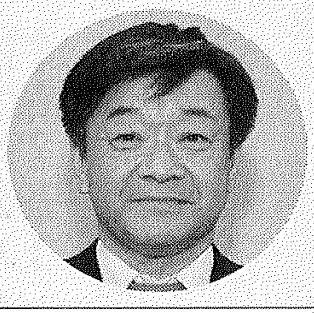
日刊建設産業新聞

仕事量確保し利益確保を

地域建設業の持続的活躍

足立参議院議員

足立敏之参議院議員は23日、参議院国土交通委員会で質問に立ち、豪雪や自然災害への対応を問うた。足立議員は「豪雪や災害の際には、待ったなしの対応が必要だ。誰かが、やらなければならない。そうした、つらい役割を地域の建設関連産業の皆さんにも担って頂いている」と述べ、地域の守り手の存在が不可欠であることを強調。「地域の建設関連産業が、持続的に活躍していける環境をしっかりと整えていくことが必要」と述べ、



石井啓一国土交通大臣の考えを聞いた。

これに石井大臣も、建設業が「地域の守り手として重要な存在」と述べ同調。国交省として、公共事業予算の安定的・持続的確保に努めているほか、建設業者が適正な利潤を確保できるよう適正な予定価格の設定などに努めていること、さらには喫緊の課題である働き方改革を加速させるため、20日に「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定し新たな施策を取りまとめたことにも言及し、「引き続き、地域の建設業が持続的に活躍できる環境を整えていけるよう取り組んでいく」と述べた。

これを受け、足立議員は、地域建設業の持続的な活躍には「仕事量の確保が大事だ」と述べ、公共事業予算を通じた仕事量の確保を強く求めたほか、その上で「仕事をすれば、必ず利益が確保できる環境をしっかりと整えることも必要」と述べ、その徹底も求めた。